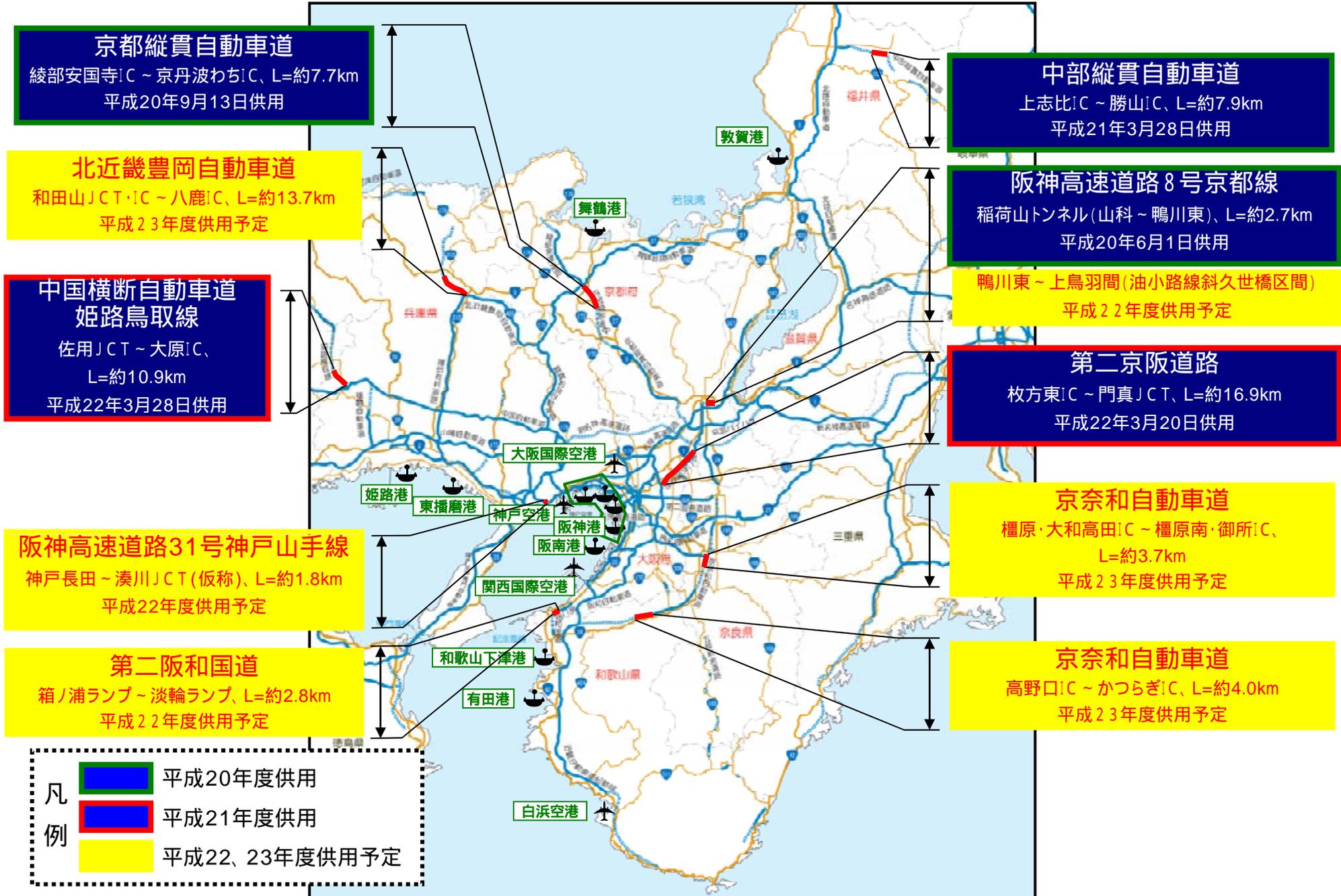


《港と道路の連携》

平成22年度  
国際物流基幹ネットワークの形成  
に向けた取組

# 高規格幹線道路等ネットワーク 平成20～23年度供用(予定)区間



# 大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワーク

## 淀川左岸線延伸部

- ・H6年12月 地域高規格道路の候補路線に指定
- ・H18年12月 奨励すべき計画案提言  
(淀川左岸線延伸部有識者委員会)

## 大阪湾岸道路西伸部

- ・H6年9月 都市計画決定(神戸市長田区～垂水区)
- ・H7年4月 地域高規格道路の整備区間に指定  
(神戸市長田区～垂水区)
- ・H7年8月 地域高規格道路の整備区間に指定  
(神戸市東灘区～長田区)
- ・H21年3月 都市計画決定(神戸市東灘区～長田区)

## 京奈和自動車道(大和北道路)

- ・H20年3月奈良県、4月京都府 都市計画決定
- ・H21年3月 平成20年度新規事業化 6.3km  
(奈良IC～大和郡山JCT)

## 名神湾岸連絡線

- ・H10年12月 地域高規格道路の調査区間に指定
- ・PI着手に向け、準備中

## 新名神高速道路(大津JCT～城陽JCT間、 八幡JCT～高槻JCT間)

- ・H3年12月 整備計画(大津JCT～城陽JCT間)
- ・H8年12月 整備計画(八幡JCT～高槻JCT間)
- ・H15年12月 抜本的見直し区間に設定  
(政府与党申し合わせ)
- ・H18年2月 交通状況等を見て改めて着工の判断  
(国幹会議)

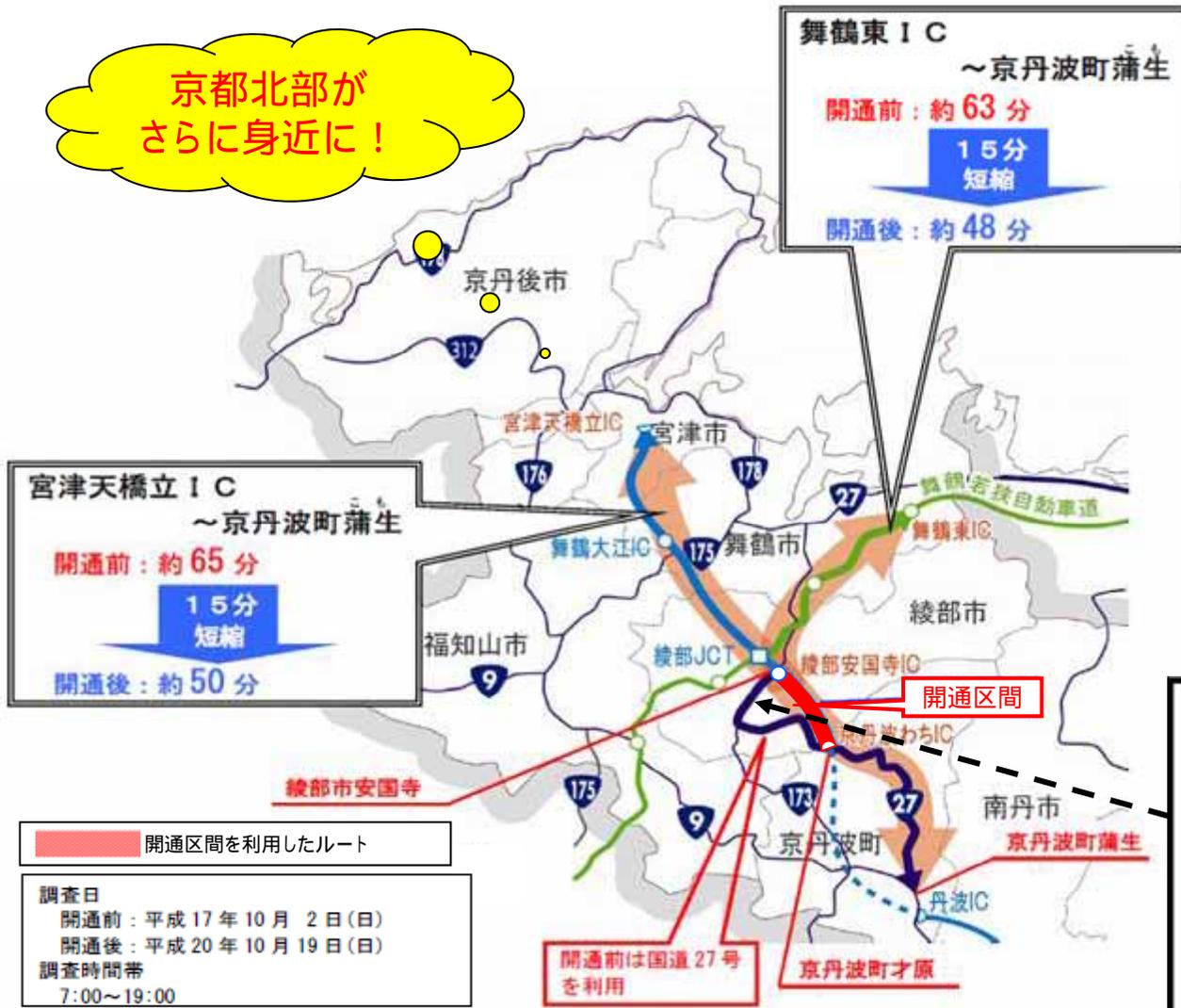


出典 国土交通省 近畿地方整備局

# 京都縦貫自動車道(綾部安国寺IC～京丹波わちIC間7.7km) 平成20年9月13日開通!!

- ・京都縦貫自動車道 開通区間(綾部安国寺IC～京丹波わちIC)の平均交通量は約2,300台/日
- ・同区間の開通により、宮津天橋立IC～京丹波町蒲生の所要時間は約15分短縮(65→50分)
- ・並行する国道27号の交通量は約1割減少(11.0→9.9千台/12H)

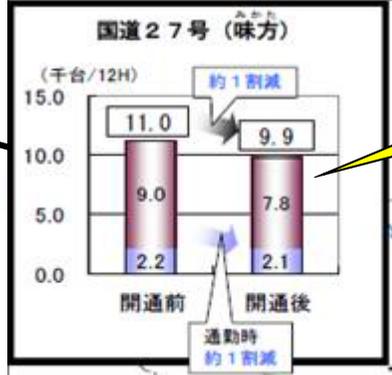
京都北部がさらに身近に!



## 京都縦貫自動車道の交通量変化

区間	開通前	開通後	変化率
宮津天橋立IC	3,400	3,700	9%増加
舞鶴大江IC	3,300	3,600	9%増加
綾部JCT	1,200	2,300	92%増加
綾部安国寺IC		2,300	
宮津天橋立IC		2,300	

宮津天橋立IC～綾部安国寺IC間の利用台数が増加!



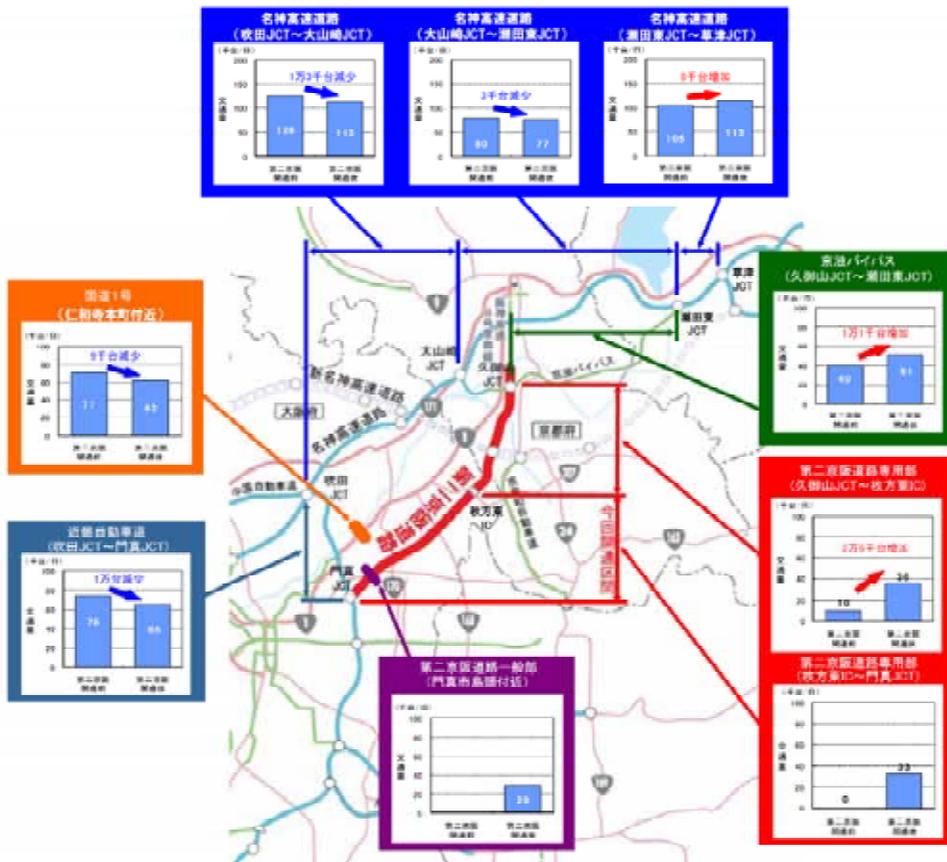
並行する国道27号では交通量が減少!

調査日  
 開通前: 平成17年10月4日(火)  
 開通後: 平成20年10月21日(火)  
 調査時間帯: 7:00~19:00  
 通勤時間帯: 7:00~8:00及び17:00~18:00

# 第二京阪道路(枚方東IC～門真JCT)間16.9km)平成22年3月20日開通!!

## 開通3ヶ月後の交通状況の変化

- ・第二京阪道路の今回開通区間の交通量は、専用部で約3万3千台/日、一般部で約2万9千台/日。
- ・一方、第二京阪道路に並行する名神高速道路(吹田JCT～大山崎JCT)では、約1万3千台/日減少、同じく国道1号では約9千台/日減少。
- ・また、第二京阪道路に接続する京滋バイパス(久御山JCT～瀬田東JCT)では、約1万1千台/日増加。



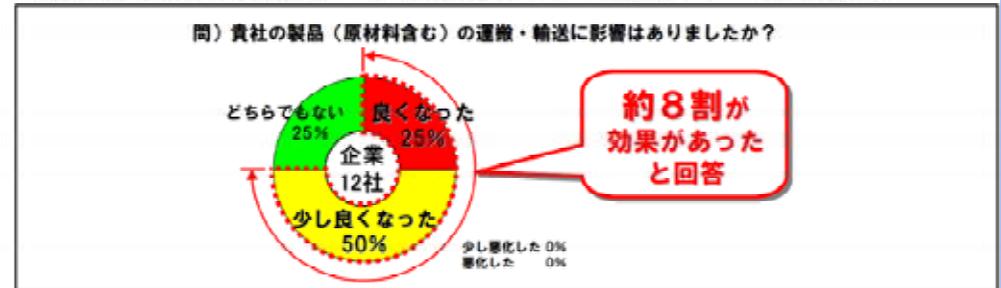
※第二京阪道路全線開通前:  
 第二京阪道路(専用部)+名神高速道路・京滋バイパス・近畿道 : 平成21年3月31日(土)～平成21年6月30日(土)までの日平均交通量  
 国道1号 : 平成20年11月12日(水) 国土交通省調べ  
 第二京阪道路全線開通後:  
 第二京阪道路(専用部)+名神高速道路・京滋バイパス・近畿道 : 平成22年3月21日(日)～平成22年6月20日(日)までの日平均交通量  
 第二京阪道路(一般部)+国道1号 : 平成22年6月4日(水) 国土交通省調べ  
 ※高速道路の交通量は、交通量計測装置によるデータを基に算出している。(加重平均)

## 物流など企業活動が効率化

- ・第二京阪道路の開通及びそれに伴う国道1号等の渋滞緩和により、製品等の運搬・輸送時間が短縮するなど、企業活動が効率化。

### ■企業の製品等の運搬・輸送への影響

(北大阪商工会議所が会員企業に行った第二京阪道路開通に関する企業活動アンケート調査結果より)

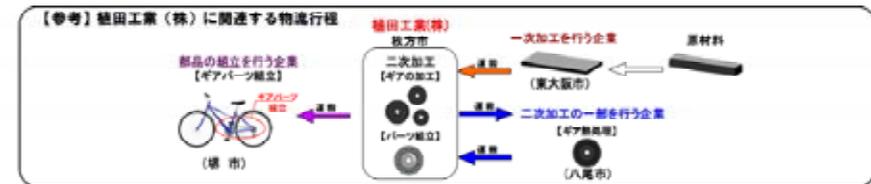


### ■企業の製品等の運搬経路と所要時間の変化

(自転車部品の二次加工を行っている植田工業(株)の例)



※運搬経路は植田工業(株)からのヒアリングに基づく。  
 ※所要時間はITISを活用した下記の期間の走行時間7～9時(出発地及び目的地周辺の道路は渋滞以上の道路を除外)  
 【開通前】平成21年3月21日(土)～平成21年4月30日(木)8～11時、【開通後】平成22年3月21日(日)～平成22年4月30日(金)8～11時



# 国際物流基幹ネットワークの整備状況 (国際コンテナ車通行支障区間)

## 国道250号 網干大橋 (耐荷重不足)

H19年度解消済み

事業: 国道250号網干大橋  
 事業期間: H16 ~ H19  
 供用: H19年7月31日  
 ボトルネック解消: H19年12月

補強工事完了後の網干大橋



## 府道大阪中央環状線 鳥飼大橋 (耐荷重不足)

H21年度解消済み

事業: 府道大阪中央環状線鳥飼大橋  
 事業期間: H13 ~  
 供用予定: H22年2月27日  
 ボトルネック解消: H22年2月  
 【H23年4月 重さ指定予定】  
 スーパー中枢港湾に係わるボトルネック箇所

鳥飼大橋



## 国際物流基幹ネットワーク



## 国道27号 後瀬山、勢浜、加斗トンネル (空間高不足)

事業: 近畿自動車道敦賀線  
 事業開始: H8 ~

## 国道161号 疋田トンネル (幅員狭小)

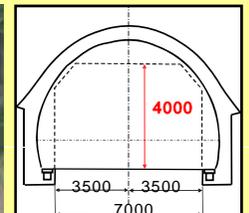
事業: 国道161号愛発除雪拡幅  
 事業開始: H15 ~

## 国道27号 椿トンネル (空間高不足)

H20年度解消済み

事業: 国道27号美浜東バイパス  
 事業開始: H3 ~  
 供用: H21年3月29日  
 ボトルネック解消: H21年3月

椿トンネル北側



# 都市内物流の効率化

(東大阪FQP協議会によるアクションプランの作成と現実に向けた取り組み)

## 大阪府:物流集積地における貨物車交通に関する課題解消(東大阪FQP協議会)

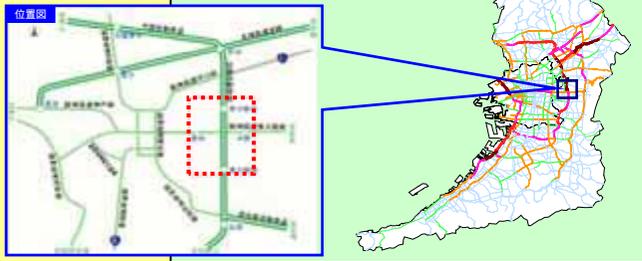
### ■取り組みの内容

#### 施策の背景・目的

東大阪流通業務地区周辺地域では、貨物車の荷待ちなど路上駐車が日常化し、交通安全や地域環境への悪影響を与えている。このため、行政や警察、荷主、運送事業者など幅広く地域の関係者が連携し、物流集積地区における貨物車交通に関する課題の解消に向けて取り組むため「東大阪FQP協議会」を平成18年11月に設置。

#### 施策の内容

##### 東大阪流通業務地区の位置図

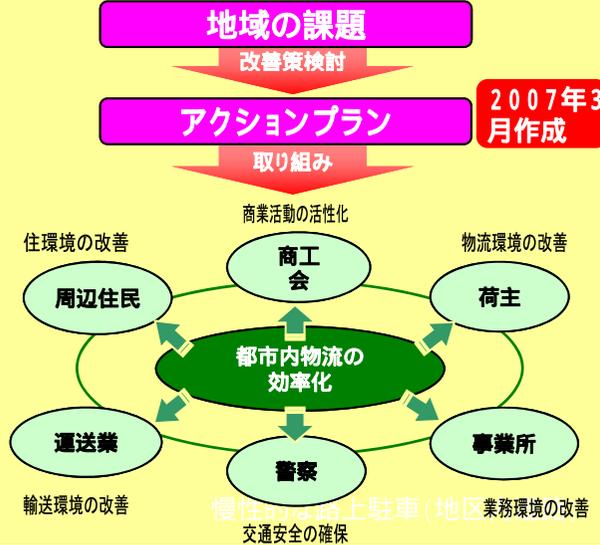


#### 課題

物流貨物車等の路上駐車が日常的に慢性化し深刻な状況であるなど、地域に課題が存在



#### パートナーシップによる取り組み



#### 車線減少を継続中



違法駐車を抑制するため、片側4車線の内、中央分離帯側の1車線を規制

#### マナーアップイベント



路上駐車が日常化している東大阪流通業務地区内において、警察署と連携し、路上駐車マナーアップキャンペーンを実施

#### アクションプランの概要

関係者が諸課題の解決を目指し自主的に取り組むことができる施策

- |                |   |                                |
|----------------|---|--------------------------------|
| 1. トラックの路上駐車解消 | → | ・東大阪物流パークの整備<br>・駐車休憩スペースの情報発信 |
| 2. マイカーの路上駐車削減 | → | ・指導、啓発活動<br>・規制強化              |
| 3. 走行ルートマネジメント | → | ・生活道路への流入抑制<br>・地区へのアクセスルートマップ |
| 4. 地区の環境改善     | → | ・緑化、美化活動<br>・アイドリングストップ        |

#### 物流パークの整備

中環東大阪休憩所(北行)  
平成20年6月オープン  
中環東大阪休憩所(南行)  
大型車の駐車スペースが増設



#### 取り組み状況

- |                                 |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| H21年度の取り組み                      | H22～取り組み(予定)           |
| ・車線減少社会実験による効果検証                | ・マナーアップイベント            |
| ・中環東大阪休憩所(南行)リニューアル工事(大型車駐車枠増設) | ・トラックドライバーへの情報提供に関する検討 |

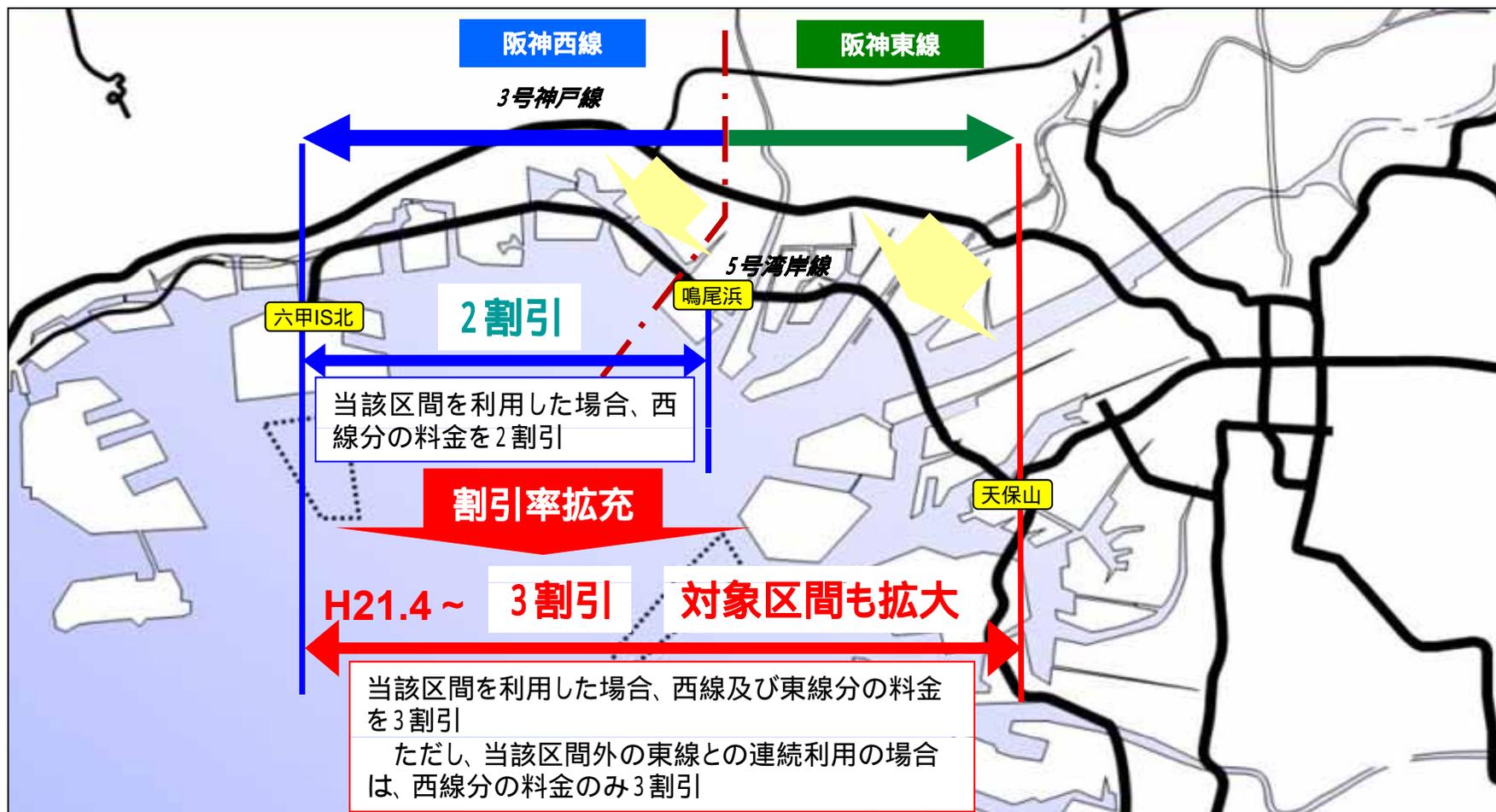
# 阪神高速の環境ロードプライシング

3号神戸線及び国道43号の沿道地域の環境改善を図るための環境ロードプライシング(大型車対象)について、H21.4から割引率・対象区間を拡充。更にH22.3から対象車両を拡大(普通車の一部)。

割引率: 2割引 3割引

対象区間: 六甲IS北～鳴尾浜 六甲IS北～天保山

対象車両: 料金大型車 料金大型車 + 料金普通車の一部



国費で行う湾岸線全体の迂回誘導割引(湾岸線連続利用割引、平日時間帯割引、土曜・休日割引)等を併用することで、約5割引になる。



# 高速道路の有効活用・機能強化について(1)

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、以下の取り組みを実施中。

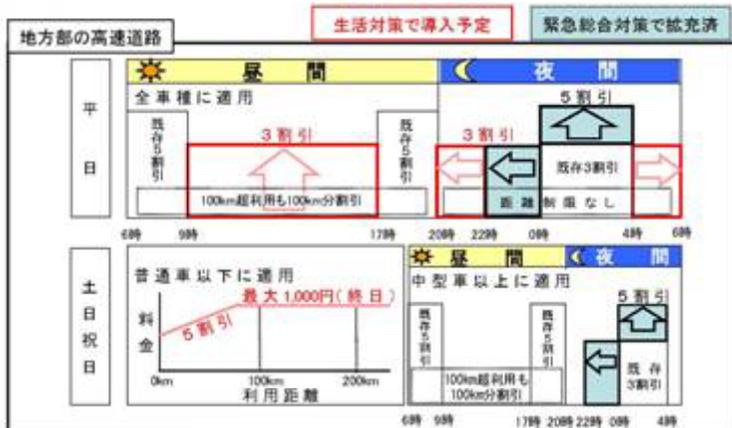
## 「生活対策」として当面平成22年度までの取り組み

- ・地方部高速道路で、平日の全時間帯に3割引、土日祝日、乗用車は終日5割引で上限料金1,000円
- ・都市高速道路で、土休日、全時間帯500円(阪神高速東線)等

## 高速道路の有効活用・機能強化を図るための約10年間の取り組み

- ・「安心実現のための緊急総合対策」として講じた措置の効果的な運用(実施中)
- ・大都市圏の料金施策(環状道路への迂回誘導等)、一般有料道路、特別料金区間等において利用転換を図る引き下げ等
- ・スマートインターチェンジの増設

### 【生活対策期間中における高速道路料金引下げ概要】



### 【京阪神都市圏の料金施策について】

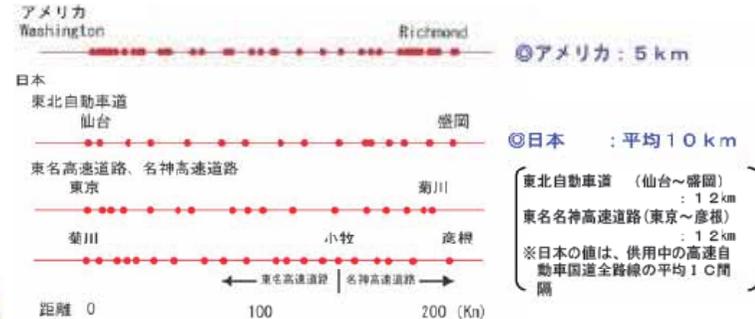


「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画(案)について」  
(日本高速道路保有・債務返済機構及び高速道路会社記者発表  
(パブリックコメント)資料より)

### 【スマートインターチェンジの増設】

・将来的に高速道路の平均インターチェンジ間隔を欧米並の約5kmに改善することを念頭にして、当面、概ね200箇所以上の整備を目指す。

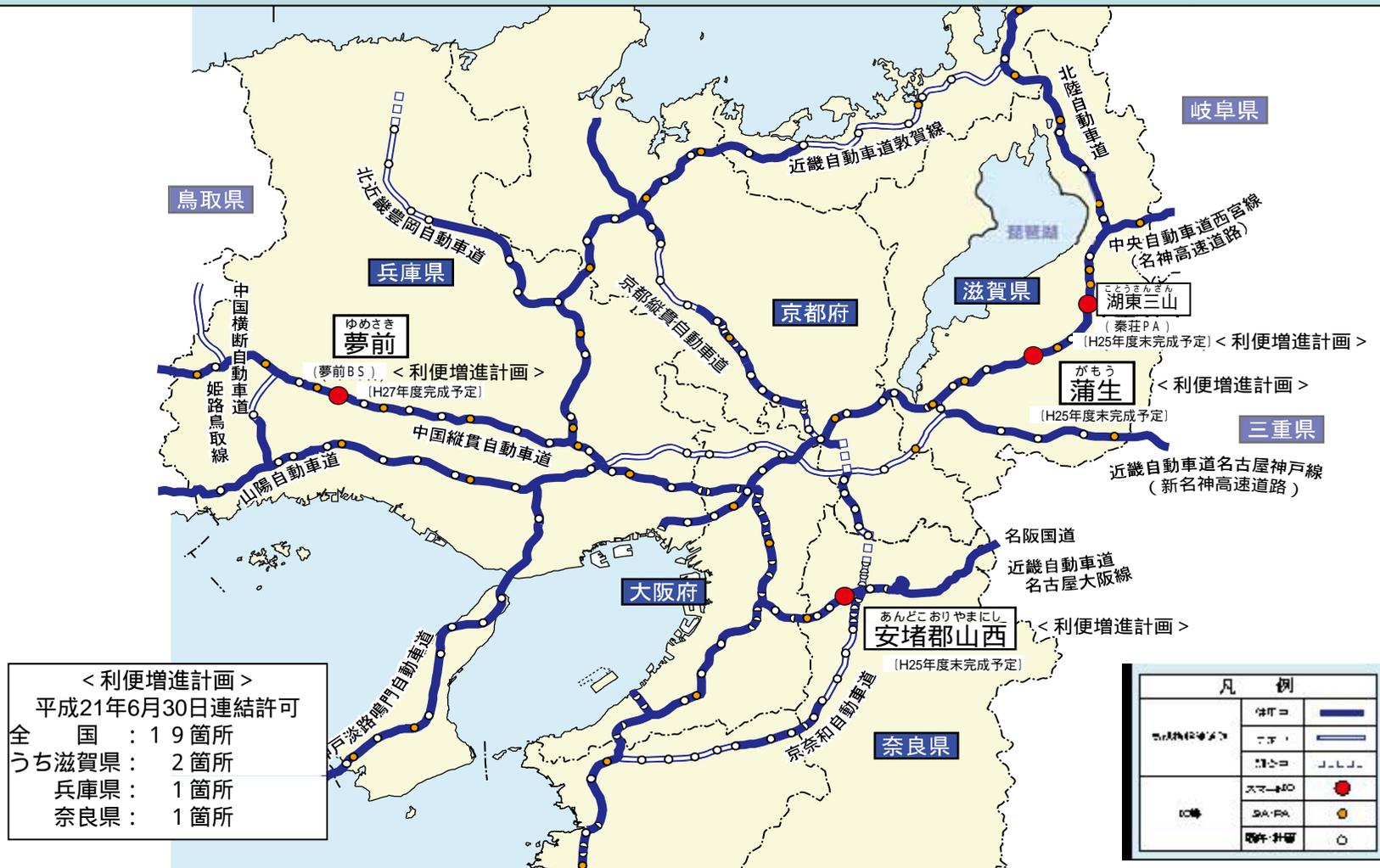
(対象道路: 高速道路等、本州四国連絡道路)





# 高速道路の有効活用・機能強化について(3)

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、  
 平成21年6月 新規スマートインターチェンジ連結許可  
 (滋賀県2箇所、兵庫県1箇所、奈良県1箇所)



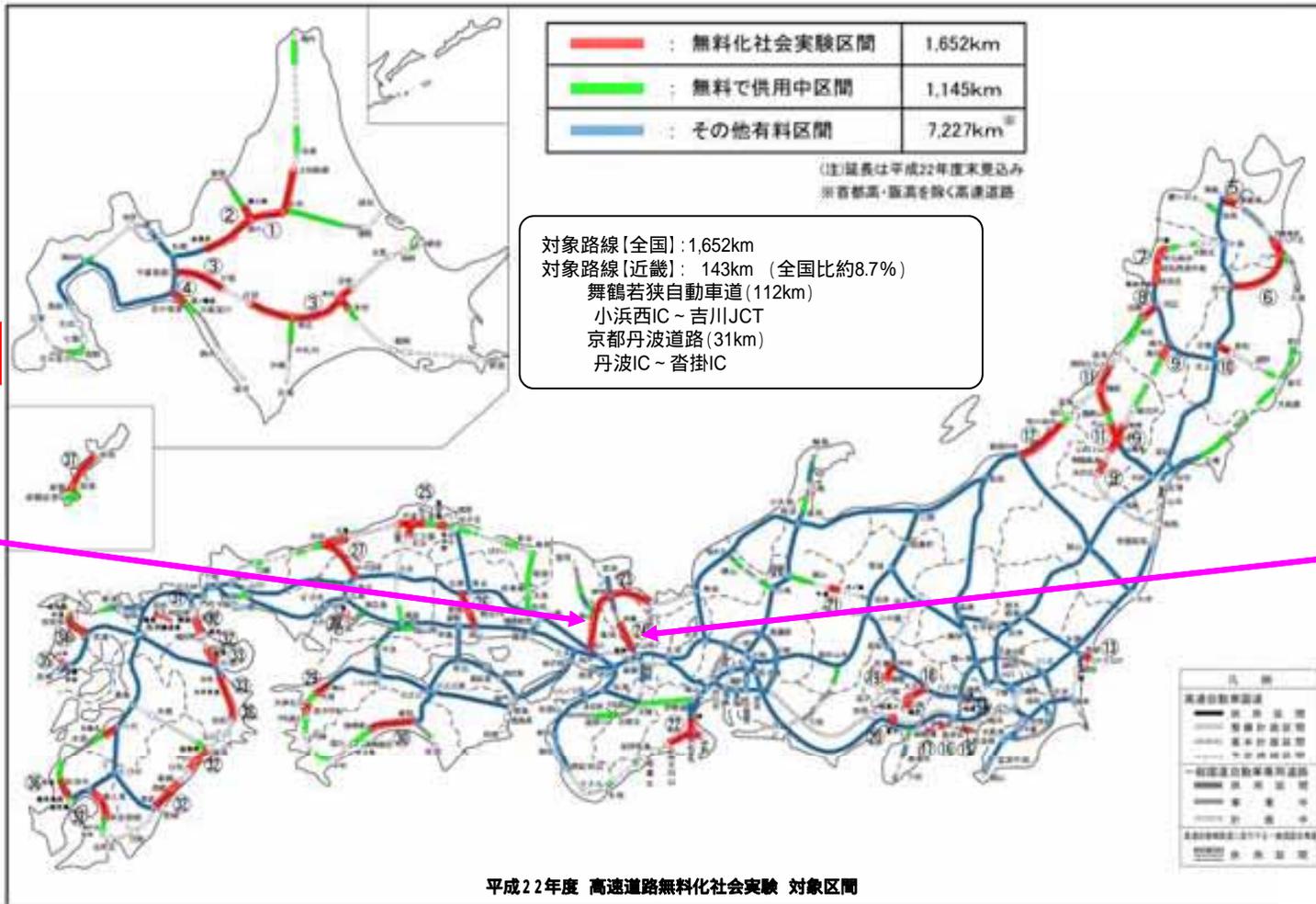
# 平成22年度 高速道路無料化社会実験計画について

## 1. 概要

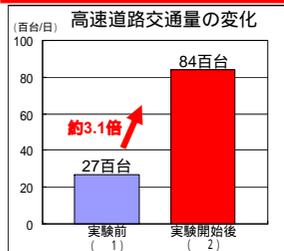
- ・流通コストの引き下げを通じた生活コストの引き下げや、地域と経済の活性化を目的として、
- ・高速道路の原則無料化の方針のもと、社会実験を通じて影響を確認しながら、平成23年度より段階的に無料化を実施
- ・平成22年度より高速道路無料化の地域経済への効果、渋滞や環境への影響を把握することを目的とした社会実験を実施

## 2. 実験内容

- (1) 対象区間 下図のとおり
- (2) 対象車両 全車種(現金利用者を含む)
- (3) 実験期間 平成22年6月28日～平成23年3月末日



舞鶴若狭自動車道  
(小浜西～吉川JCT 112km)



京都縦貫自動車道  
(丹波～沓掛 31km)



1: 実験前の交通量  
平成22年6月20日～6月26日の  
日平均交通量

2: 実験開始後の交通量  
平成22年6月28日～7月4日の  
日平均交通量